

港湾經濟研究

日本港湾經濟学会年報

NO. 4

1966

日本港湾經濟学会編

序

経済発展にともなう港湾の諸問題は、益々重要な性格を呈しつつあり、港湾の経済・社会的研究が今後本格的になされなければならない段階をむかえている。この時にあたり、本学会の中心的事業の一つでもある研究年報 No. 4 が公にされることはまことに意義深く、よろこびにたえない。

本号は、昭和40年11月、名古屋港においてもたれた第4回研究報告会における会員諸兄のご発表を中心にした論文、およびその他の研究からなるものであり、これらの諸業績がいずれもわが国港湾の問題解決のため、もしくは港湾の近代化に貢献するところ大であると信ずる。

本年11月には第5回年次大会が、新潟港においてとくに日本海岸側における港湾を共通論題として開催されるが、これもまたきわめて意義深いものがある。今後益々会員諸兄の真しなご研究が実を結び、本学会の役割が達せられんことを念じてやまない。

終りに、正会員、賛助会員の各位をはじめ、本学会の活動にご協力を頂いている方々に厚く感謝の意を表すると共に、なお今後のご尽力をお願いする次第である。

昭和41年秋

日本港湾経済学会会長 矢 野 剛

目 次

序	矢 野 剛
---	-------

研 究

共通論題（地域開発と港湾）

後進的地域開発と港湾機能	武 山 弘（ 1 ）
港湾による地域開発問題について	田 中 文 信（ 16 ）
港湾機能と経済発展	北 見 俊 郎（ 31 ）
——地域開発に関連して——	



東北開発と野蒜築港	寺 谷 武 明（ 59 ）
——明治前期港湾の一事例——	

神奈川県第3次総合開発計画と

新しい港湾の計画理論	高 見 玄一郎（ 72 ）
港湾における都市再開発の問題	今 野 修 平（ 87 ）
——東京港における都市再開発を例として——	

自由論題

港湾労働の基調	喜多村 昌次郎（ 101 ）
——横浜港における労働力移動の素描——	
港湾労働の近代化条件について	徳 田 欣 次（ 121 ）
港湾の最適投資基準	是 常 福 治（ 147 ）
——神戸港における測定の一例——	
名古屋港発展史	松 浦 茂 治（ 158 ）
——昭和13～32年の20か年について——	
港湾の物的流通費について	中 西 睦（ 170 ）
パレット、フォークリフトの諸問題	宮 野 武 雄（ 186 ）

資 料

- イギリス戦時港湾施策……………矢 野 剛 (195)
- 東京湾における広域港湾計画に対する一指針……奥 村 武 正 平 (206)
- 横浜港施設改善に関する日本損害保険協会
からの要望について……………今 泉 敬 忠 (216)

文 献 紹 介

- Colonel R. B. Oram ;
Cargo Handling and the Modern Port ……松 木 俊 武 (220)
- Charles P. Larrowe ;
Shape-up and Hiring Hall ……………山 本 泰 督 (225)
- 高見玄一郎著
「港湾労務管理の実務」……………徳 田 欣 次 (233)
- 松宮斌著
「港湾の財政・経営のあり方」……………柴 田 悦 子 (238)
- 横浜市港湾局編
「横浜港における港湾労働者の
実態と住宅事情」……………和 泉 雄 三 (244)
- 新潟臨港海陸運送株式会社編著
「創業六十年史」……………小 林 寿 夫 (250)

学 会 記 事

- 「港湾経済研究」総目次…………… (276)
- 編集後記…………… (279)